

# 週 報

2018. 7.22

十字架によって、二つのものを一つのからだとして神と和解させ、敵意を十字架にかけて滅ぼしてしまったのである。(エペソ2:16)

八幡東区スペースワールド

AM10:30 特別伝道礼拝

メッセージ：「ノーサイド」

エペソ人への手紙2章11～16節

メッセンジャー：田代孝一先生

にほんきりすときょうだんらかさわきょうかい  
(日本基督教団深沢教会)



まねきのことば

招 詞

(イザヤ40章31節)

「主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように翼をかって上ることができる。  
走ってもたゆまず、歩いても疲れない」

深沢教会イエス・キリスト企救エクレシア (バス停・徳寿園入口から北へ20m)

〒802-0974 北九州市小倉南区徳力4-17-15

TEL/FAX : 093 (964) 2590

E-mail : [kikuecclesia@gmail.com](mailto:kikuecclesia@gmail.com)

URL : <http://kiku-ecclesia.2is1.jp>



「祈りを集める」ということは、事業プランを達成する時によく使われるスローガンや社訓などに似ていると思います。これらのものは、組織でその計画を達成するためにベクトルを合わせ、同期のとれた内語(心構えの基)を個人々、一人々に形成するために良く用いられます。

私たちは、意識的にまた無意識に大小さまざまな計画をたてます。何故でしょうか? これらの現象は、知性ある生物だけでしょうか? ある物理学者に言わせると凡ての物質が、一番単純な、物質の基である陽子や電子やクォークでさえ自分の存在をわたしは、ここにいますと誰かに呼び続けている。

その為に運動をしている(エネルギーを発している)と、……擬人化して説明などしてと、批判されるかもしれませんが、「planを立てることは、願いを現実繋げる為に凡ての被造物が行なっている」それほど根源的なものではないでしょうか?

さて、願い(動機)をもとに plan を立て実行したとしましょう。自分だけでアフアーメーション(積極的自己宣言)をした、つまり祈った場合と、多くの人に自分の状況を説明し同じ方向性で、アフアーメーションをして頂いた時、スポーツ、特に団体で行う競技に関しては、その結果が大きく変わることが良く知られています。選手に対する応援などもこの範疇に入ります。これは、ビジネスでも同じことが、起こることを私は数多く体験しました。

今日の御言葉の中で「みな心を一つに合わせ、祈りに……。」とあります。

私が洗礼を受けた(ビジネスセミナーの延長で行くようになった)教会では、牧師さんが海外での伝道集会やラジオを使った放送伝道などを行う時「祈りを集めるので、祈れる時間のあるときに……と、いう方向性で皆さん祈ってください。その祈りはあなたに祝福として、必ず帰ってきますから!」と言って祈りを集めていました。処で、この教会の牧師さんは「この人の祈りは、よく聞かれる!」とか、「神様に届く!」とか、「この人は主の祝福を呼び寄せる器である!」とか言われ、多くの人たちが「恒雄先生!私の為に祈ってください!」と集まって来るような方でした。

しかし彼は「主は砕かれた魂を持つ者の祈りは、誰のものであっても聞かれる」と聖書の内容とともに語っていました。又、たった一人の人が行う「癒し」や「力ある祈り」は、その人自身を高慢にし「砕かれたたましい」から一番遠いものにしてしまう危険をはらんでいるとも……。

私は、最近目の手術の為、入院しました。この手術の成功の為に Facebook やメールで多くの人に「お祈り」をお願いしました。祈りを出来るだけ多く集めました。その結果遅れるはずだった手術時間が早まり、又、手術自体に要した時間も通常半分ほど。メスの傷も通常 2.5mm が 2.0mm で、腫れも殆どありませんでした。

祈りを集めることで「主が私を愛して、無碍ともいえる多くの恵みを与えて頂いていること」を知る事が出来き、感謝いたします。アーメン!!

Memo :





新しい都市に引っ越してきたばかりなので、土地勘が全く働かない。それで彼女は、教会には車で行くことにした。車の「カーナビ」に任せれば、初めての教会でも簡単に連れて行ってくれる、と思ったのだ。

教会の電話番号を、まず打ち込む。それによってカーナビは目的地を認識し、すぐさま音声誘導を始めた。住宅街を進むと、四つ角に出た。「このまま直進してください」と言う。しかしその先に大型トラックが停まっており、狭くなった脇をうまくすり抜ける自信がなかった。そこで彼女は左折した。すぐにナビは切り替わる。「次の角を右折してください」と。これで元の方角に戻れると思い、音声通りに右折した。しばらく進むと道路工事の現場に出くわし、「通行禁止」のため、係員が脇道に進むように指示していた。しかたなくそれに従う。もう彼女には、教会がどの方向になるのかわからなくなっていた。



家で見ただ地図では、自宅から教会までは直線距離にして8キロくらいであったから、30分で着くだろうと思っていた。しかし20分走っても一向に近づいた気配がない。それでも指示通りに進んでいると、何と都市高速の入口に出てしまった。手前で車線変更をしなかったためにそうなったのだが、後続車があるので今更ユーターンは出来ない。仕方なく都市高速に入った。「次の出口で高速道路を降りてください」という音声誘導が胸に刺さったが、非難している口ぶりではない。……。こうして、彼女は1時間後ようやく教会に着くことができた。もう牧師の説教は終わっていた。彼女は大回りして、何と29キロも走っていた。

後になって彼女は、この体験を何度も思い出した。カーナビは常に車が「現在居る」その位置からの道を示してくれる。「引き返せ」とは言わない。だから運転者がいかに間違った道を進んでいても、「そこからどうすればよいか」を指示する。そういう意味ではとても便利が良い。しかしナビは、いつも近道を示すとは限らない。よく知っている道で「こちらの方がかなり近道なのに」と思っても、ナビはなぜか別の道を示すことがある。それが通行しやすい広い道というわけでもない。何かわからない理由でそうするのだ。例えばナビには「未来予知能力」があって、「今日は近道の方を行くと事故に遭いやすいから、別の道を……」というようなことなのだろうか？ もちろん、この場合の「未来予知能力」とは、ビッグデータに基づく事故の確率計算のことである。

あれこれ考えていると、彼女は「カーナビ」の誘導が人生のアナロジー（類比）になっているのに気付いた。目的地の教会は“神”だ。人生は“神”に近づいて行く絶えざる道程と言える。その時指示を出してその人を誘導するのは“内なる神の声”である。“良心の囁き”とか、“聖霊の導き”と言ってもよいだろう。しかし人は諸般の事情でそれに従えない。それで、やむを得ず道を逸れても、“内なる声”は惜しみなく、次々と正しい誘導を出し続けてくれる。安心してよい。立ち止まらずに、進めばよいのだ。

詩編5:9 「主よ、恵みの御業のうちにわたしを導き、まっすぐにあなたの道を歩ませてください。」

# 10:30~ 主日礼拝

前奏		
招詞	イザヤ書40章31節	司会者
讚美	「アドナイ・エレ（主の山に備えあり）」	〈起立〉一同
//	「今こそキリストの愛に應えて」	//
祈禱		〈着席〉司会者
使徒信条		〈一同〉司会者
特別賛美	「ゴッド・ブレス・ユー」	BB.Oh!Sun' Z
聖書	エペソ人への手紙2章11~16節	司会者
讚美	「主の教えを喜びとし」	一同
メッセージ	「ノーサイド」	田代孝一先生
讚美	新聖歌345「沖へいでよ」	一同
主の祈り		〈一同〉司会者
献金	新聖歌343「罪に満てる世界」	安武幸男
報告		司会者
頌栄	新聖歌63「父、御子、御霊の」	一同
祝禱		
後奏		

当番：立石才子      司会：衛藤陸雄      奏樂：安武・林田・立石  
特別賛美：BB.Oh!Sun' Z      メッセージ：田代孝一先生      献金：安武幸男

※お体の具合の悪い方は座ったままで結構です。



## 次週（7月29日）主日礼拝奉仕者

当番：衛藤照子      司会：立石才子      奏樂：安武・林田・立石  
メッセージ：衛藤陸雄      献金：衛藤陸雄

**報告** 7/31 (火) PM7:00 徳力市民センターにて、ゴスペル教室「みんなのゴスペル」を行います。講師は、ゴスペルシンガーの「マナ」さんです。（※参加費：-人1,000円 連絡：080-3905-7203 林田まで）

※ 企救丘市民センターの改装工事に伴い、徳力市民センター（TEL 093-963-0158 小倉南区南方2丁目5-37 <http://www.ktao01.net/mina/ktcc/access.html>）にて行います。 徳力市民センターアクセスQRコード →



**祈り** ※共に祈りあいましょう。祈りは油であり、灯の源です。

- 1、熊本地震で被害を受けた方、復旧に働いておられる方のために！
- 2、東日本大震災で亡くなられた方、原発の被害にあわれた方、避難されている方、奉仕されている方のためにお祈りいたします。
- 3、日本と諸外国との色々な問題が、主によって速やかに、また私たちの思う所、願う所を超えて益となる解決がなされますように！



先週の礼拝人数      男性3名      女性2名      計5名